

大会プログラム



第12回 おかやまエンデューロ

【開催】2024年4月21日（日）



大会HP
<http://okayama-enduro.powertag.jp>



レース速報・ラップ一覧
<http://matrix-sports.jp/lap/>

【会場】岡山国際サーキット
〒701-2612 岡山県美作市滝宮 1210

【協賛各社】株式会社オージーケーカブト MAVIC
株式会社ネックス FEELCAP 株式会社Re・蘇
DECOJA アールケー・ジャパン株式会社
株式会社ジェイテクト CACHALOT
カルノパワー FOOTMAX ミトロンゲ-V
(順不同)

【主催】
おかやまエンデューロ実行委員会
【企画・運営】

株式会社マトリックス

【協力】
岡山県自転車競技連盟
株式会社岡山国際サーキット
岡山県サイクルスポーツ協議会
南船場スポーツグラスサロン眼' z
株式会社キャパクリエイション

マトリックス スポーツイベント 事務局 〒592-0012 大阪府高石市西取石 7-7-33

TEL : 072-340-1693 平日10:00~17:00 FAX : 072-340-1698 MAIL : matrix-event@powertag.jp

大会スケジュール 4/21 (日)

	エンデューロ		アタック	
	6時間	4時間	180	100
開門・ピット開放			5:30~	
受付	5:30~※各競技スタート30分前まで			
ロードレース講習会	7:45~※参加無料			
試走	8:00~8:45※参加者以外は試走できません			
集合 (ライダーズミーティング)	9:15~9:25※スタートラインに整列した状態でいきます			
スタート	9:30	9:33	9:30	9:33
ピット閉鎖①	13:28~13:53	13:28~13:53	13:28~13:53	13:28~13:53
ピット閉鎖②	15:25~	-	15:25~	-
ゴール (制限時間)	15:30	13:33	15:30	13:33
表彰式	16:00	14:15	16:00	14:15
抽選会	16:00※表彰式終了後開始			

タイムテーブル

5:30~	開門・ピット開放・選手受付	13:28~13:53	ピットロード閉鎖 (25分間)
8:00~8:45	試走 (ロードレース講習会7:45~)	14:15~	4時間エンデューロ・アタック100表彰式
9:15~9:25	ライダーズミーティング	15:25~	ピットロード閉鎖
9:30~15:30	6時間エンデューロ・アタック180	16:00~	6時間エンデューロ・アタック180表彰式
9:33~13:33	4時間エンデューロ・アタック100		表彰式終了後抽選会

実施競技 ※使用車種は車両規定に準ずる

エンデューロ

No	種目名	ゼッケン色	参加資格	時間
601	6時間ロード	青	小学生以上	6時間
602	6時間男女混合	青	小学生以上	6時間
602	6時間45+	青	小学生以上	6時間
401	4時間ロード	白	小学生以上	4時間
402	4時間男女混合	白	小学生以上	4時間
403	4時間ファミリー	白	小学生以上	4時間

アタック

No	種目名	ゼッケン色	参加資格	周回数
181	アタック180	赤	中学生以上・男性	48周
101	アタック100	黄	中学生以上	27周

集合・ライダーズミーティング

各集合エリアに競技スタート30分前からお集まりください。ライダーズミーティングは9:15からコース上スタートラインの整列した状態でいきます。第1走者が参加してください。大切な確認事項のお知らせがありますので、ピットに待機している選手も必ずお聞きください。

大会開催の中止・変更について

原則として雨天決行ですが、台風や地震などの天災、または天変地異により中止・変更する場合があります。※上記理由により大会開催が不可能になり、中止となった場合は参加料の返金はできません。あらかじめご了承ください。

レース経過速報

ラップ一覧チェックサイト「LAP CLIP」は、スマートフォンやタブレットなどで参加者のラップタイムが一覧表やグラフ形式でリアルタイムに確認できるサービスです。

※天候不順などによる大会の有無の確認もLAP CLIPをご覧ください。





会場マップ 岡山国際サーキット

入場料金及び駐車料金のご案内
 入場料は参加選手及び同伴者1名まで入場
 できます。同伴者2名以上の場合は入場券
 をご購入ください。
 当日入場券 高校生以上 1名:1200円
 ※中学生以下は無料
 駐車料金:500円
 ※当日正面ゲートにて精算



会場内火気厳禁
 火気を利用したBBQなどが
 禁止となりました

女性更衣室・授乳室(2F 226号)

PIT-13 ~ 16 ソロ用ピット

ロードレース講習会実施場所(7:45~)

喫煙エリア

メカニック

トイレ

Cパドック
(参加者駐車場)へ

Cパドック
(参加者駐車場)へ

正面ゲート
AM5:30 開門

4時間、アタック100
スタートライン

6時間、アタック180
スタートライン

4時間、アタック100招集場所
6時間、アタック180招集場所

パドック連絡トンネル

Cパドック(参加者駐車場)

ロッジBエリア

ロッジCエリア

ロッジAエリア

大会場へ
(車両進入禁止)

ミニコース

メインスタンド(観客席)

コントロールタワー

Aパドック

観客席

受付

表彰

Bパドック
(火気厳禁)

バザール会場

テント設置可
(火気厳禁)

救護

車検場

GS

ヘリポート

競技について

競技者装備

1. 全ての競技者は落車時に頭部を保護する為に、ヘルメットのアゴひもをしっかりと締めた着用を義務付けます。使用ヘルメットが、使用上安全であると認められるものはJCF（日車連）公認のものでなくても使用を認めます。（但し、硬質外殻を持つヘルメットに限る。）
2. 全ての競技者は、主催者から用意されたゼッケン及び計測タグを指定の位置に取り付けることを義務付けます。

競技規則

- ・本大会は（財）日本自転車競技連盟の規則に準じ、本大会の特別規則によって実施します。
1. 競技規則および競技運営・管理上の規定を厳守してください。
 2. 競技は、計測タグ使用による自動計測システムにて実施します。もし計測タグを装着せずに競技に参加した場合、成績が表示されませんのでご注意ください。又計測チップを2つ以上装着して走行することを禁止します。
 3. 車検は行いませんので、各自責任を持って常に完全に整備された自転車を用いて参加してください。
 4. スタート地点への移動途中やローリングスタート走行中の無理な追い越しや割り込み等、危険行為、迷惑行為を禁止します。
 5. スタート地点への移動途中やローリングスタート走行中の無理な追い越しや割り込み等、危険行為、迷惑行為を禁止します。
 6. スタートはバイクの先導により誘導します。バイクからの合図で一斉にスタートする「ローリングスタート」で競技を開始します。
 7. 全ての競技においてスタート時間に遅れた競技者およびチームは、遅れた時間分をロスタイムとして計測します。
 8. コースで他の参加者を追い抜く場合、原則的に右側から追い抜くものとします。
 9. ピットレーン走行中は原則として他の競技者を追い抜く事を禁止します。
 10. コース走行中、自分の走行ラインを斜めに変更する場合、必ず変更する側の後方確認を行い安全であるか確認することを義務付けます。
 11. 競技中および試走時間中にコースを逆走することは安全管理上一切禁止します。
 12. 競技者は、ボトル、スペアタイヤ、修理用具等を携帯できますが、ガラス容器その他危険物を携帯してはいけません。なお、携帯したものをコース上およびその周辺に破棄する事を禁止します。
 13. 競技中、完走打ち切りは原則として実施しませんが、審判委員および医務員から競技の中止を指示された競技者は、直ちに競技を中止してください。
 14. 競技は参加申込にてエントリーした選手のみが出場できます。なお事前に大会本部（選手受付窓口）に、参加者変更の連絡を申し出ている場合は、代理人の出走を認めます。
 15. 競技参加者は競技役員の指示に従ってください。
 16. 大会開催中、参加者自身の自転車および貴重品等は、各自の責任において管理してください。
 17. 飲酒による出走を禁止します。
 18. 危険行為、迷惑行為、規則違反、マナーや風紀を乱すなど、競技者として不適当な行いがあった者（チームやグループ）には警告と周回数減などのペナルティーを与えます。悪質な行為や警告が度重なる場合はレースから除外します。
 19. 携行した飲食物の飲食はコース走行中も可能ですが、飲食物を補給する場合はピットエリア内で必ず停車して行ってください。第三者からの補給を受ける場合もピットエリア内で停止して行ってください。
 20. 同一チームで複数名が同時に走行することを禁止します。アンクルバンド（チーム用計測タグ）を装着していない選手は走行出来ません。
※試走は省く
 21. ゼッケンや計測タグは決められた方法で指定の場所に取り付けること。
アンクルバンドタイプ計測タグの受け渡しは必ず交代エリアで停止して行うこと。走りながらの取り外しや装着、受け渡しは禁止します。

車両規定 ※P6に詳細あり

1. 参加者が使用できる自転車は、フリー式とし、前後ブレーキは完全なものとしします。
2. 使用する自転車はサーキットでの高速走行に耐える強度を備え、よく整備された自転車である事を義務付けます。
3. トライアスロンバー、DHバー、アタッチメントバー、ブルホーンバーの使用は認められません。
4. フラットハンドルバーのエンドバーは認めますが、エンドバーを本来の目的以外に使用する事を禁止します。また、フラットバー以外でも付属品の使用方法が本来の目的以外の使い方である、または、車両既定の禁止事項に類似すると判断された場合は、審判長の判断により走行禁止や規制を加えられる場合があります。
5. 1本足スタンドは必ず外して走行してください（センタースタンドは可）。
6. ディスクブレーキ式の自転車は出場可能です。
7. ディスクホイールはパフォーマンス目的の利用に限り使用可能とします。集団走行での使用は認められません。
8. バトンホイール及びスピナジーの使用は認められません。
9. 電動アシスト付自転車、タンデム車は出場できません。
※自転車について詳細は大会事務局までお問い合わせください。
※衣装および車両の装飾については、極端な突起物および走行上著しく操作を妨げる形状の部品の取り付けは認めません。
※仮装衣装は、ノースリーブや極端な露出の衣装を着用することを禁止します。着用する衣装の丈の長さは、車輪巻き込み防止のため膝頭より上とし、走行時に本人を含む、周りの方へ危険を与えない事。

エンデューロ

競技は定められた周回コースを所定の自転車で走行します。周回を重ね、それぞれ所定時間を経過した後、競技を終了し、走行した周回数およびゴール着順により順位を決定します。スタートはバイクの先導により誘導します。バイクからの合図で一斉にスタートする「ローリングスタート」で競技を開始します。

1. カテゴリーは種目によりチーム対抗とし6時間・4時間の耐久レースを実施します。
2. チーム構成は6時間を2~6名、4時間を2~5名、ファミリーは3~4名とします。使用する自転車は同一チーム内であれば共有する事が出来ます。
3. 競技中の選手交代は、あらかじめ定められた各チームピット前のピットレーンにてチーム用計測タグの交換により行います。選手交代のタイミングは、同一チーム内で自由に行えます。
4. 計測チップの受け渡しは必ず停止して行ってください。走りながらの取り外しや装着、受け渡しは厳禁です。
5. 補給はチームピット前の交代エリアで停車した状態でのみ行われるものとします。第三者からの補給もピットエリア内で停止して行ってください。
6. ピットレーン入り口を下記の時間帯に一時的に閉鎖します。6時間、4時間エンデューロに出場されている選手はその間、交代できませんのでご注意ください。(6時間エンデューロ 13:28~25分間/4時間エンデューロ 15:25~終了まで)
7. 規定時間を過ぎてゴールラインを通過し、レースを終了した選手はピットロードに進入して速やかに各チームピットへ戻ってください。
8. 各チームのレース途中経過情報は、携帯サイトで確認できます。(P2 Lap Clip参照)

アタック

アタック180、アタック100ともに、制限時間内に規定の周回を走行し、ゴールタイムを競います。スタートはバイクの先導により誘導します。バイクからの合図で一斉にスタートする「ローリングスタート」で競技を開始します。

1. 走行距離・制限時間(終了時間)は以下の通りです。
アタック180/177.74km(1周3.703kmのコースを48周)、6時間(15:30終了)
アタック100/99.98km(1周3.703kmのコースを27周)、4時間(13:33終了)
※制限時間内に最終周回に入り、フィニッシュラインを通過した者は完走扱いとします。
2. 制限時間終了後は新たな周回には入れませんので、それまでにFINISHできない選手はDNF扱いとなります。
3. 周回掲示板の提示はいたしません。周回数の管理は選手個人の責任とします。サイクルメーターなどをご利用いただくかピットエリアでLAP CLIPを使用するなどしてご確認ください。
4. 携行した飲食料の飲食はコース走行中でもできますが、飲食料の補給はピットエリア内で必ず停車して行ってください。第三者からの補給もピットエリア内で停止して行ってください。
5. 制限時間内にゴールした選手はコース上に立ち止まらず、コースを1周し、ピットロードを通過して速やかにコースアウトしてください。完走した選手全員にWEB版の完走証を発行いたします。※Lap Clipからダウンロード

表彰

エンデューロ

- ・6時間エンデューロ、4時間エンデューロにはそれぞれ総合順位賞を設けます。それぞれの総合順位の1位、2位、3位には賞金を贈呈いたします。
 - ・各種目の表彰カテゴリー別に1~3位までの表彰式を行います。1~6位まで表彰状と副賞を贈呈します。
- ※各種目で出走数が10名または10チーム以下の場合に入賞対象は3位までとなります。

アタック※表彰は完走者のみ対象

- ・アタック180、アタック100にはそれぞれ総合順位賞を設けます。それぞれの総合順位の1位、2位、3位には賞金を贈呈します。

アタック180: 年代別男子1位のみ(29歳以下、30代、40代、50代、60歳以上)※

アタック100: 年代別男子1位のみ(29歳以下、30代、40代、50代、60歳以上)※

アタック100: 女子1~6位

※総合入賞以外が対象となります。

ベストパフォーマンス賞

レースを楽しませてくれたチームに副賞を贈呈します。

公式記録

1. 競技記録は以下の手順にて公式記録となります。
2. レース終了後、直ちに通告員より入賞対象選手またはチームを場内(ピットエリア)アナウンスします。
3. 通告、掲示後10分経って意義申し立ての無い場合、競技結果は公式記録として確定します。

車両規定について

1. フリーホイール式であり、正常に作動するブレーキが前輪と後輪それぞれに装着されていること。
2. サーキットでの高速走行に耐える強度を備え、よく整備された自転車であること。
3. ディスクブレーキの使用を認めます。
4. 電動アシスト付自転車、タンデム車、ピスト（固定ギア）は出場できません。

ホイールについて

- ・ディスクホイールはパフォーマンス目的での利用に限り使用可能とします。集団走行での使用は認められません。
- ・バトンホイール・スピナジーの使用は認められません。

ハンドルについて

- ・トライアスロンバー、DHバー、アタッチメントバー、ブルホーンバーの使用は認められません。
- ・フラットハンドルバーのエンドバーは認めますが、エンドバーを本来の目的以外に使用する事を禁止します

使用不可ハンドル例



バーエンドバー取り付け例



カメラについて

- ・スポーツ用の市販小型カメラで、取付具は自転車を使用するために設計された市販品に限ります。
- ・取付はハンドル／サドルのみとしハンドルの上端、前端、幅を超えないこと。
- ・後部はサドルの後端を超えないこと。
- ・落車の際に選手本人や他の選手に危害を及ぼす可能性がある位置や装着方法は認めません。
- ・撮影した映像・画像は営利目的やほかの参加者の迷惑や大会運営の妨げになるような使用は禁止です。

カメラ取り付け位置



カメラ取り付け例



その他付属品など

センタースタンド以外の、1本足スタンドは必ず外して走行してください。

ボトル、スペアタイヤ、修理用具等を携帯できますが、ガラス容器その他危険物を携帯してはいけません。

競技に不要で危険を及ぼす可能性のある部品は取外すこと。

ライト・リフレクター・ミラー・カゴ・泥除け・ベル・鍵・荷台・スタンド・ハンドルに取り付けるボトルホルダーなど

装着可能な物

サイクルボトル・ボトルゲージ・サイクルコンピューター・サドルバック・携帯用空気入れ・サドル後方のボトルゲージ・ツールボトル

※ミラーは10cm以下で飛散しない材質のこと（ガラス禁止）。但し、集団走行をする（可能性がある）場合は、装着不可です。

通信機器（トランシーバー等）を使用する場合は、片耳イヤホンとし走行中の操作を禁止します。なお、会話に集中しすぎ、走行に際して注意散漫にならない様にする事。

走行中の禁止事項

レース・試走にかかわらず走行中の写真撮影や携帯電話の使用、携帯プレーヤー等で音楽を聴きながらの走行は禁止です。

走行中のビデオ、カメラ、携帯電話などを操作、携帯プレーヤー等で音楽を聴きながらの走行は禁止です。コース脇に止まっただけの写真撮影や携帯電話の使用も禁止です。

※車両規定や禁止事項の違反、装備の使用方法が本来の目的以外の使い方で車両規定違反と判断した場合は、審判長の判断により走行禁止や規制を加えられる場合があります。

※自転車や装備について詳細は大会事務局までお問い合わせください。

パワータグの取り扱い

フロントホーク固定式計測タグ

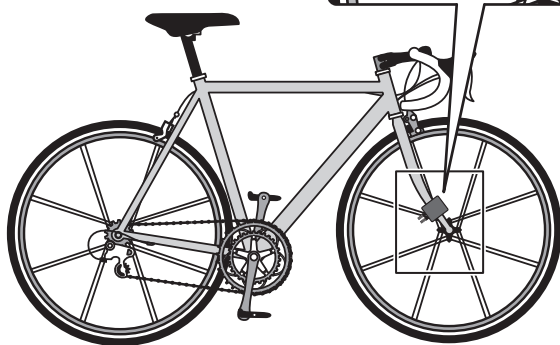
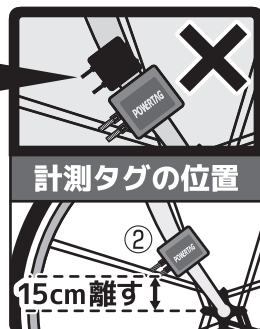
参加者全員に計測タグセット(固定式計測タグ、タイラップ2本/写真①)をお渡ししています。使用する自転車に装着してください。固定式計測タグに貼られているご自分のお名前を確認してから、フロントホークの図②の位置に固定してください。正しく装着されていなかったり、装着せずに出走された場合は計測できませんのでご注意ください。

パワータグセット

- パワータグ1コ
- 結束用具(タイラップ)2本



※ご注意※
 サイクルコンピュータのセンサーは、[計測タグを装着しているホークの反対側]のホークに取り付けて下さい。サイクルコンピュータのセンサーと計測タグの位置が近いと、どちらも動作しなくなる場合があります。



取り外し方



タイラップはニッパなどで切って外してください。

(フロントホークを傷つけないよう注意してください)

取り付け方



1)
 パワータグ裏面にあるゲタ状台座の穴に写真のようにタイラップを通します。



2)
 フロントホークに装着し、タイラップの細い先端を穴に通して強く引きます。



3)
 しっかり固定するまでタイラップを引き、タグがずれたり動いたりしないか確認します。



4)
 固定したら余分なタイラップを切り取ってください。



5)
 取り付け完了です。

レース終了後、自動計測器「パワータグ」は計測タグ回収所へ全て返却していただきます。

アンクルバンド式計測タグ

チーム用

エンデューロの記録計測に使用する計測タグはアンクルバンドタイプです。ライダーの足首に巻き付けて使用しますので下記の注意事項をよく読んでお取り扱い下さい。

取り扱いの注意事項

- (1)アンクルバンドタイプの計測タグは、足首に巻き付けて走行します。審判員から視認出来るように露出して装着して下さい。(左右どちらでも可)
※手首に巻いたり、ポケットなどには入れないで下さい。計測されない場合があります。
- (2)計測タグの受け渡しは必ず停止して行うこと。走りながらの取り外しや装着、受け渡しは厳禁です。
- (3)計測タグは精密機器です。ライダー交代の際に投げたりしないで下さい。落下して記録が計測出来なくなることがあります。
- (4)アンクルバンドは黒色面を外側(黄色面を内側)に、足首に巻き付けて下さい。走行中に外れないようしっかり固定して下さい。



ゼッケンの取付け位置

ゼッケンは、同封の安全ピンで ジャージ上着の背中左側の腰位置に取り付けていただきます。このとき、右図のように 脇腹のラインにゼッケンの下部が沿うような位置に取り付けてください。※ゼッケンのナンバーが、左側面と背面から見えるような位置。



※左図を参考に、安全ピンで各2ヶ所ずつ通ししっかりと固定すること。

<取り付ける際のご注意>

※ゼッケンは折り曲げてはいけません。

※テープ・両面テープのみの取り付けは禁止します。

必ず安全ピンでしっかりと取り付けてください。剥がれた場合は競技を続行することができません。



計測タグの返却

レース終了後、計測タグはタグ回収場所(4・6時間終了のみ)もしくは受付へすべて返却していただきます。

- ・固定式計測タグはタイラップを切って返却してください。
- ・アンクルバンド式計測タグはそのまま返却してください。

※計測タグは個人登録されていますので、返却されなかった場合は大会事務局より製作実費5,000円を請求させていただきます。



コース紹介と規制について

安全なレースのために走行レーン規制地点を設けています。

本大会では、速度差のある選手が同時に同じコースを走行します。安全で楽しくレースをしていただくために、自分の走行レーンを維持して走る「走行レーン規制地点」を設けています。規制地点はアトウッドカーブです。もちろん規制地点以外でも注意を必要とする地点があります。全員が安全を心がけて無謀な走りをしていないようにしてください。

② アトウッドカーブ

長い下りストレートからの急カーブで、スピードコントロールが要求されます。バックストレート同様に走行レーンを規制します。そのため、早い人は内側(左側)に切り込みすぎないよう、また内側を走行している人はINペタで走るようにしてください。

アトウッドカーブ

③ アトウッドカーブ～第1コーナー

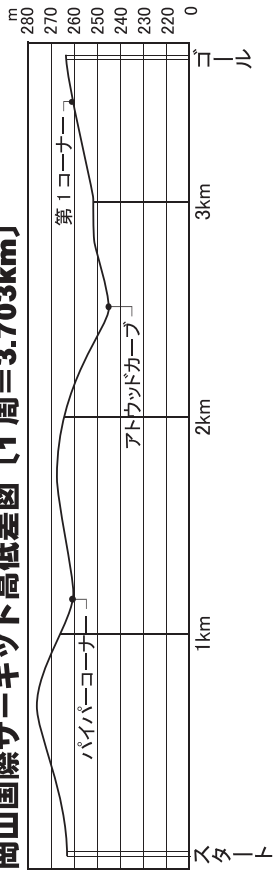
ここからはゴールまでずっと緩やかな上りが続きます。第1コーナーを抜けるとゴールまでは約250m。無理のないライン取りで最後のスプリントに備えましょう。

ピットエリア



選手交代は、必ず交代エリアでおこなってください。ピット内では徐行してください。

岡山国際サーキット高低差図 (1周=3.703km)



バイシクルレース入門

楽しいレースのための安全走行

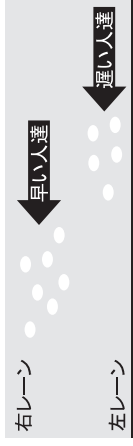
スタート直後の注意点

本大会は、複数の競技が同一コースを周回する競技です。ゆっくり走る人と早い人が混在していますので、スタート直後から2周目あたりまでは大きな集団で走ることになります。初心者や集団走行に不慣れた人は無理をせず、十分注意して安全走行を心がけてください。

コース走行レーン

本大会のコース走行レーンは下図のように、コースの左側は速度の遅い人達のレーン、右側は早い集団のレーンとして使用します。

コース走行レーンのイメージ図



レース中の心得

レースは集団で走行しますので常に前後左右に選手がいることを忘れないようにしましょう。

急に斜行したり、走行レーンを突然変えたりすると接触事故の原因になります。

直前の選手を見るのではなく、視線は少し遠く、集団の先頭の動きに注意しましょう。

遅い選手を追い越すときは、「右、通ります」などの声を掛けて知らせましょう。

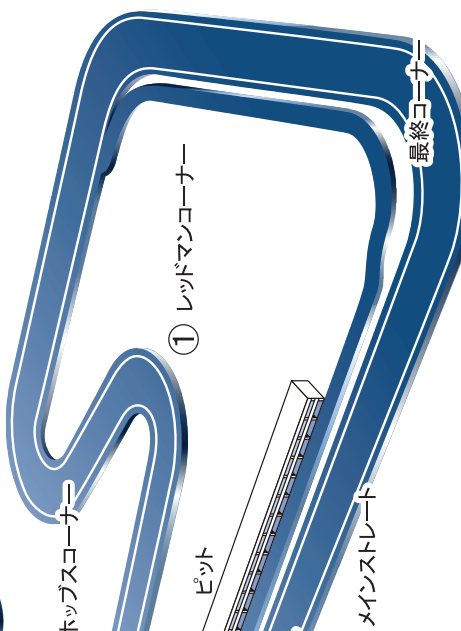
追い越される選手は、進路を変えずにそのままの走行ラインを守ってください。

よそ見をしたり、下を向いてふらついていることがあります。集団の流れを乱さないようにしましょう。

隣の選手と接触してもまっすぐ走るようにしましょう。

① ホップスコーナー～レッドマンコーナー

ホームストレートから長い上りが続き、コースの最高地点です。ここから下りが始まります。急な車線変更は厳禁です。自分のラインを守り、無理な追い越しや割り込みはやめましょう。



集合・スタートエリア

- 各集合エリアに競技スタート30分前までにお集まりください。
- 並び順は先着です。
- 競技に参加する全ての第1走者並びにアタック出場者はライダーズミーティングを受けてください。

